

5月16日(土)、さわやかな五月晴れの中、カノラホールにおいて諏訪教育会定期総集會が行われました。各会場で楽しそうに、そして真剣に研修に取り組む会員の姿が見られました。今回の教育会だよりでは、会長挨拶の抜粋と、7つの委員会が主催した各講座の様子を紹介します。



令和8年度 諏訪教育会定期総集會 濱会長挨拶<抜粋>

新緑が目鮮やかな季節となり、今朝も、大変さわやかな風を感じました。おかげ様で明治15年設立の「諏訪教育会」は、今年度、144年目を迎えました。

今年度の諏訪教育会のテーマは、「より深め、より開き、より据える」という諏訪伝統のテーマを継続し、サブテーマを「～前へ みんなの未来につなげて～」とさせていただきます。

昨年度の教育会は、牛山会長の下、これまで受け継がれてきた「前へ」の流れをさらに進め、事業の見直しをおこない、新たな未来へ向けて力強く歩みを進めました。会誌「諏訪教育」を年1回の発刊とし、児童生徒文集「みずうみ」「やまなみ」を一冊の合本としました。「自然調査研究部」の五つの委員会の発展的統合を行い、一委員会とし、「諏訪季節大学」は今年度より夏休み中の平日開催としました。

今年度も、これらの「未来」につながる改革の流れを継続し、委員会活動の在り方や発展的な統合、改編をはじめ、諏訪教育会について必要な議論を重ね、具体化してまいります。これら改革は、すべて、「諏訪教育会」という場に集う人々、教職員、諏訪の子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとって、「諏訪教育会」がその価値と可能性をより高めていくための歩みです。

「諏訪教育会」の価値と可能性(存在意義)は何か。私は「つながり」であると考えています。そのつながりとは、ここ諏訪の地での「ひと」そして、「こと」、「もの」とのつながりです。自校を超えて、校種を超えて、同年齢の、また、異年齢の先生方とつながり合う場として、また、諏訪という地域に生きる多様な人々をはじめ、風土や文化、歴史とつながり合う場として「諏訪教育会」はその価値を発揮するのだと考えております。

私たちは、一人ひとりが願いをもち、それぞれの立場で、それぞれの持ち場で、その願いの実現を思い描いて日々の教育活動に取り組んでいます。願いの実現のために力量を高めることを目指し、学び、また、実践へと向かっていきます。「諏訪教育会」は、研修等の「学びの場」をはじめ、様々な場や機会を通して、「求める先生方」が「つながり」を豊かにし、対話し、様々な形で「学び」「力量を高める」ことができる場所であり、そのために存在をしていると信じております。

諏訪教育会は平成24年に「公益社団法人」となり、「社会全般や不特定の多数の者の利益を目的とする団体」であるということが、より豊かな「つながり」を支えてくれています。公益法人であることへの自負と誇りを胸に、自由と自主を大切に協働的に私たちの未来へ向かって、前へ進めたらと願っています。

会員の皆様、「諏訪教育会」で、出会い、つながり、学び合ひましょう。

本日は、諏訪定期総集會の特色でもあり、昨年度も好評でありました「参加型」の研修がございます。本日は諏訪教育会らしく、仲間とかわり合ひながら学ぶ研修を大いに楽しみましょう！

令和8年5月16日 諏訪教育会会長 濱 喜一郎 (岡谷東部中学校)

各研修講座の様子から

<社会科委員会> 「歴史大富豪・諏訪地域の映像資料紹介」 (第1会議室)

「歴史大富豪」は委員の先生方が作成したオリジナルのカードゲームで、「グループで楽しみながら歴史上の人物と時代のつながりを理解できるクオリティの高い教材だと思います。授業でぜひ活用してみたいです。」という会員の声がありました。また、諏訪地域の映像資料として、1984年～1991年にNHK教育テレビで放送されていた小学3年社会科の番組「たんけんぼくのまち」の紹介がありました。当時の諏訪湖や市の様子などが鮮明に分かり、かなり貴重な映像資料として活用できそうです。



<算数・数学委員会> 「児童・生徒の関心や活動に関わる算数・数学」 (第2会議室)

正の数・負の数のトランプゲーム、連立方程式の導入「数当て」、空間図形の導入「ブラックボックス」などについて研修しました。グループごとに実際にトランプを使って体験しながら研修を深め、普段の授業にも活用でき、授業づくりのヒントをつかむ研修講座となりました。「最近、ICT機器の活用注目が集まっていますが、実際に手を使って活動するアナログ教材のよさを改めて体験できました。自分たちが興味深く取り組んでいることを通して、子どもたちも興味をもって取り組むという見通しがもてました。」という会員の声がありました。



＜特別活動委員会＞「アイスブレイク活動で関係づくり」 (第2練習室)

レクリエーションの具体的な方法を55種類紹介していただき、その中のいくつかを体験しました。研修当初は初対面の先生方ばかりで緊張もありましたが、レクリエーションの体験を通して、自然と会話が生まれ、交流を深めることができたのではないかと思います。参加された会員からは「短時間でも場の雰囲気や和らげ、人と人をつなぐ力を実感することができました。今後の学級経営に生かしていきたいです。」といった声が聞かれ、関係づくりのヒントをつかむことができた研修講座となりました。



＜健康教育委員会＞「教職員のための安全なテーピング講習会」(小ホール)

長野県柔道整復師会の講師の先生によるテーピング講習会を行いました。最初にテーピングの基礎知識を座学で学び、その後実際にテーピングを巻く実習をグループに分かれて行いました。「講師の先生の見本を見てから実際に練習ができたため分かりやすかったです。困ったところは講師の先生が分かりやすく教えてくださいました。」という会員の声がありました。今回は膝関節と足関節の固定の実習を行いましたが、続編として「突き指の場合を教えてくださいたい」といった声があがったり、講師の先生の見本を動画で撮影し、何回も再生しながら練習したりする等、熱心に取り組む姿がありました。



＜体育・保健体育委員会＞

「体を動かしながら、『運動会の表現』『ダンスの授業』に行かせるダンス指導方法を学ぼう

～プロのダンサーさん (BEACH HOUSE 諏訪市) と一緒に体を動かしましょう～ (リハーサル室)

BEACH HOUSEのダンサーさんをお招きし、アップテンポな曲に合わせてダンスを教えてくださいました。参加されている先生方がとても生き生きと笑顔で取り組んでいる様子が印象的でした。

「できるようになることの喜びや、体を動かすことで持てる心の解放感、汗をかくこととの気持ちよさを改めて感じることができました。教えていただいた動きを体育の表現運動やリズム遊びに取り入れてみたいです」という声が聞かれました。その道のプロの方から学ぶことの意義も実感することもできました。



＜科学する心を育てる委員会＞「知的好奇心をかきたてる実験教育」(大ホール)

「知的好奇心をかき立てる実験教育」について、高校生を巻き込んで実験を進めている実際の様子についての発表がありました。会員からは、「教員だけでなく、高校生にも入ってもらって一緒に創り上げているところがすばらしい」「実験に参加者に見せるだけでなく、途中でクイズを出したり、高校生の視点を交えた工夫が見られたり、まさに『知的好奇心』をかき立てる実験になっていると感じた」といった感想が寄せられました。

また、「高校生たちにとって大変意義深い活動の機会となっている」「自分の授業づくりにおいて、ちょっとした科学的な視点を盛り込むだけでもだいぶ違うと感じた」など、より創造的な考えをもつ会員もいました。



＜自然調査研究部＞「自然調査研究部の取り組みについて」(大ホール)

スライドや動画で紹介される諏訪地域の自然に、参加者は釘付けとなりました。会員からは、「標高差による霧ヶ峰、諏訪、東京の気温差が5度ずつあることが興味深かった。」「山をつくる岩石を見ると、その山の形状がわかるということがおもしろく、また、様々な噴火が狭い地域で多く見られていたことで、諏訪はすごいところなのだということがわかった。」「自然のことを、本当は専門家が取り組むことではないのかと思ったが、近くの先生達が力を合わせて調査し続けていること、そしてそれを楽しそうに、いきいきと進めているところがすばらしいと思った」「こうした地道な調査が、諏訪の地域の自然の記録として後世につながっていくのだと感じた」といった感想が聞かれました。



研修講座を企画・運営して下さった委員会の皆様、諏訪教育会合唱団の皆様、総集會を様々なところで支えて下さった社員の皆様、各係の皆様、本当にありがとうございました。